

赤外線サーモグラフィによる建屋壁面浮きの調査

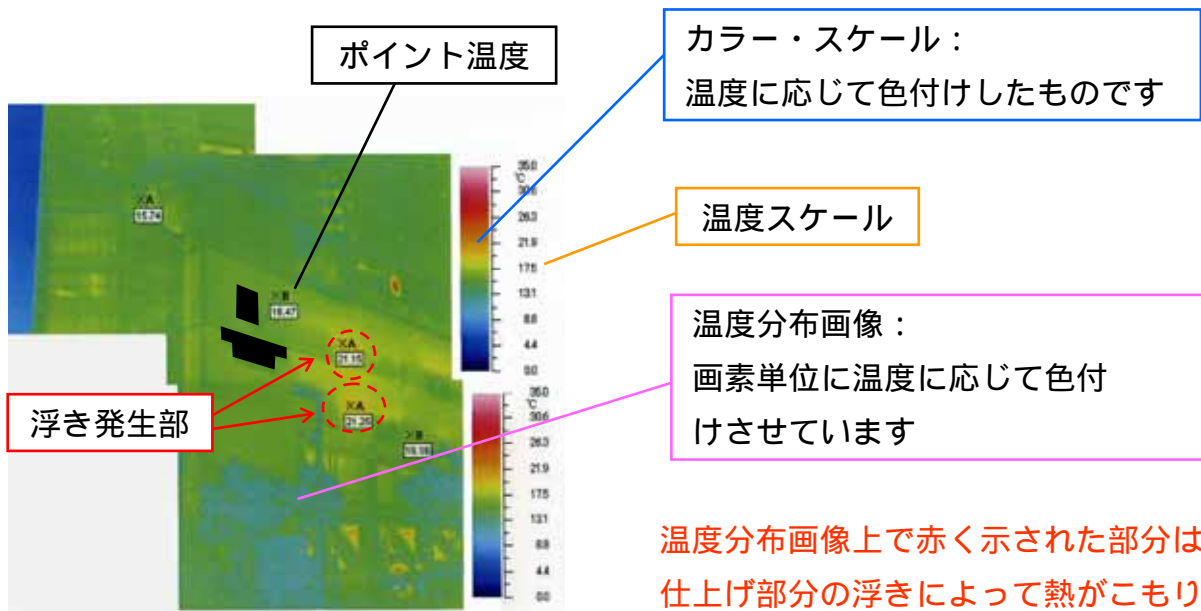
【概要】

コンクリート構造物の調査方法として赤外線サーモグラフィ法を用いて建物の温度分布画像を撮影し、壁面の浮き等の状況をスピーディに調査することが可能です。



【サーモグラフィの特徴】

- ・広い範囲の温度分布を相対的に比較できます。
- ・動いているものや、危険で近づけないものでも、簡単に温度計測できます。
- ・食品、薬品、化学製品などでも衛生的に温度計測できます。
- ・温度変化の激しい物や、短時間の現象でも温度計測ができます。



温度分布画像上で赤く示された部分は、仕上げ部分の浮きによって熱がこもり、他の部分より高い温度となります

電磁誘導法によるコンクリート構造物内部探査

【概要】

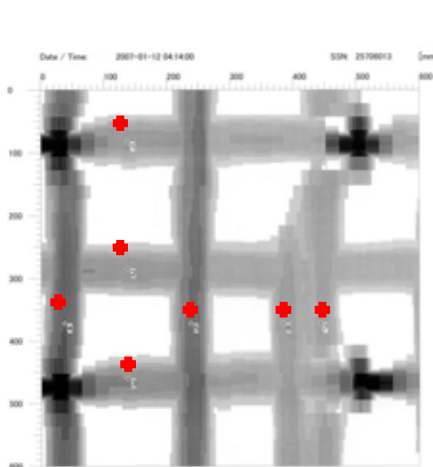
鉄筋・塩ビ管など、コンクリート内部の対象物をフェロスキャンシステムにより画像表示いたします。鉄筋の位置、間隔、鉄筋のかぶり厚さ、鉄筋径等のコンクリート内部の状況を探査致します。



コンクリート内部探査状況



フェロスキャンシステム



測定位置 鉄筋の方向	座標	かぶり厚さ	鉄筋径
Point:	x: [mm]	y: [mm]	Cov.: [mm]
1	139	83	57
2	139	286	58
3	139	463	53
4	37	374	40
5	239	374	47
6	386	374	52
7	445	374	53

測定データ例

電磁波レーダ法によるコンクリート構造物内部探査

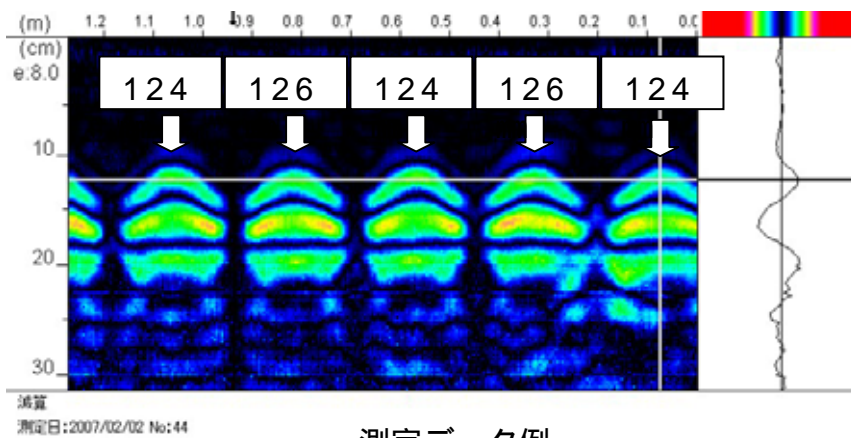
【概要】

鉄筋・塩ビ管など、コンクリート内部の対象物を電磁レーダにより画像表示いたします。鉄筋の位置、間隔、鉄筋のかぶり厚さ等のコンクリート内部の状況を探査致します。



電磁波レーダ装置

コンクリート内部探査状況



測定データ例